

かわしま介護トピックス

- かわしま介護保険サービスセンター
- かわしまヘルパーステーション
- 川島整形外科病院通所リハビリテーション
- かわしまクリニック訪問看護・訪問リハビリ

2010年8月1日 第7号

発行／医療法人 玄真堂 介護保険事業部 広報部
大分県中津市宮夫14-1 ☎0979-24-2423



新介護保険事業部 広報部です！

CONTENTS

- 訪問リハビリテーション
病気が教えてくれたこと
- 訪問看護
訪問看護師のひとり言
- ヘルパーステーション
ちょっといい話
- 通所リハビリテーション
作業療法はじめました・夏は脱水症にご注意
八十八ヶ所巡り
- 介護保険サービスセンター
医療福祉相談室
- 新人職員の紹介
- 介護保険事業部スタッフ・クローズアップ

● サービスについてのお問い合わせは ●

かわしま介護保険サービスセンター

TEL.0979-24-2423



通所リハビリ利用者様合同作品「あじさい」

●●●病気が教えてくれたこと●●●

Aさんは、自分の身体を思い通りに動かせません。最近では、徐々に身体能力の低下とともに、食べ物の飲み込みや、言葉もはつきり発音しづらくなっています。

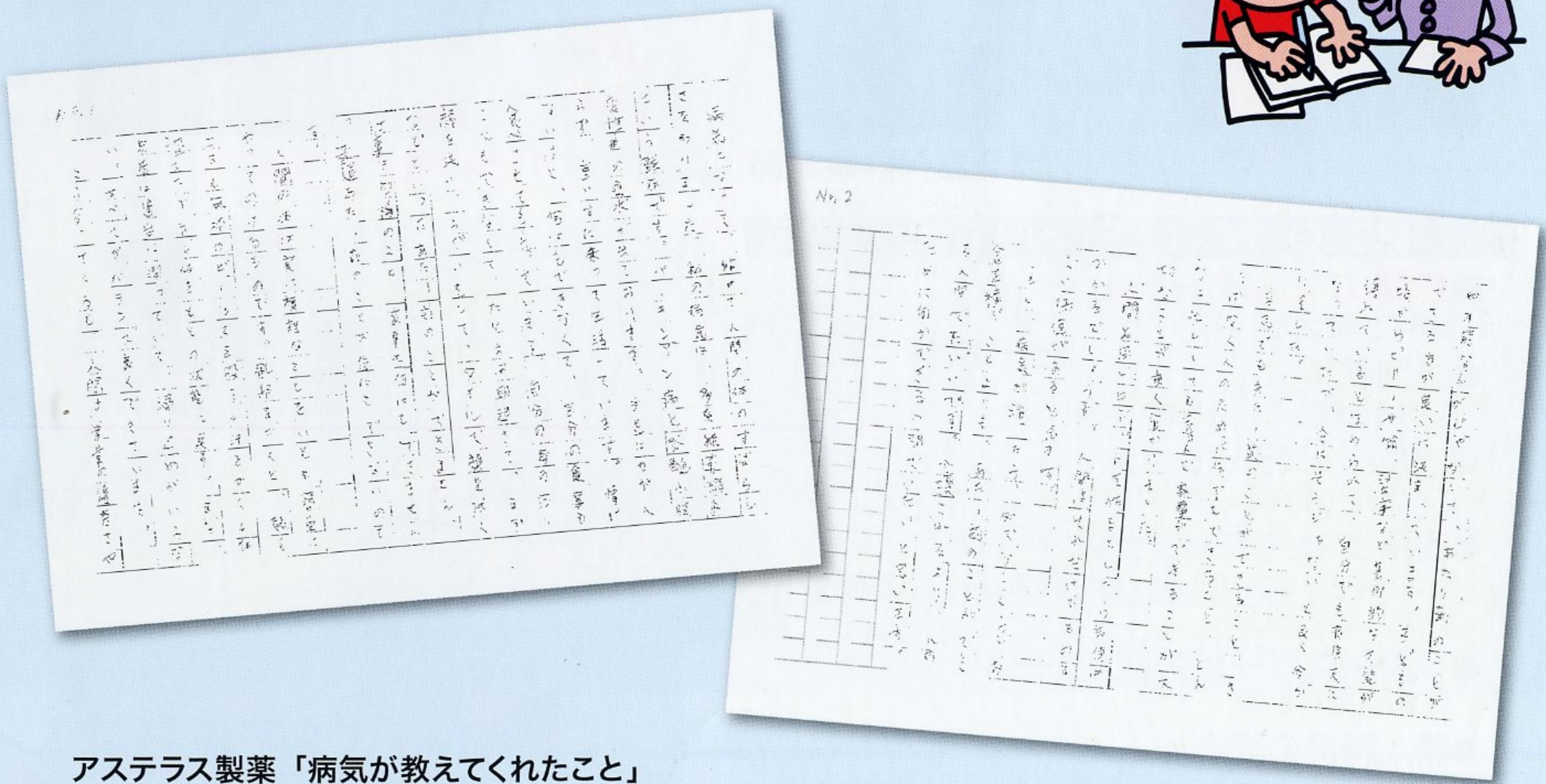
こんな自分は「寝たきりと同じ。何もできない。」と語っていました。

Aさんに、できたら良いと思うことを尋ねると、「相手にわかりやすく伝えること」や「手紙を書く」ことでした。しかし今のAさんにとっては大変困難なことで、不満に感じていたそうです。

そこで、エッセイコンテストへの応募を薦めてみました。本人にとって意味のある作業を行うこと、なにより文字を書くことが手先の訓練となり、生活の質を高めることになるためです。また、自分の思いを表現し社会との接点を持つことで、コミュニケーションも生まれ、一つの作品を仕上げることが自信にもつながることを期待しました。

Aさんは、一生懸命ペンを握り、原稿用紙2枚分の作品を仕上げました。内容の構想はすぐにできたそうですが、字を書くという作業はとても時間と努力を要したということでした。書き終えた原稿を私に見せてくれたとき、「仕事ができて良かったです」と笑顔で語って下さり、2つのできたら良いと思うことにも、「とても満足している」と明るい表情と笑顔に、訪問リハビリに携わることで、お互いにありがたさを思う幸せを経験させていただきました。

さらに喜ばしいことに、Aさんのエッセイが佳作に入選し、書籍化（120作品）されることになりました。（応募総数11,970作品）



アステラス製薬「病気が教えてくれたこと」
エッセイコンテスト佳作受賞作品

こちらの作品を含む入賞作品はアステラス製薬ウェブサイト「こころの辞典」で公開しております。
URL : <http://www.astellas.com/jp/corporate/brand/essay/kokoro/>

訪問看護師の ひとし言

その1

この時期になると、毎年思い出すことがあります。ベッド上で寝たきりの方のお宅へ訪問していた時、自宅の中にツバメが巣を作っていました。

普通は、衛生上問題があり、すぐに排除されるところでしょうが、その方は、「ツバメが、一生懸命に巣を作るのを見ることがとても楽しみ。すごく癒される。」と言われました。

寝たきりでベッドでの生活の中でも、その様な楽しみ方をするその思いに、感動させられました。しかし、最後に一言、「5匹も飛んでると、癒されるのを通り越して、ちょっと、うるさいわね。」と笑って言つていた顔が思い出されます。



その2

両足の傷の処置で、訪問開始となりました。その利用者様のご家族が、診察・高気圧タンク・処置をサポートし続け、訪問看護は自宅での入浴介助、処置をお手伝いさせて頂き3ヶ月半!!片足の傷が治りました!!

ご本人、ご家族が喜ばれている姿を見て、私もとても嬉しく思いました。反対側の足も、あと少しだけ、一緒に頑張っていきたいです。

その3

以前、訪問していた利用者様で認知症もあり、声かけをしてもなかなか動いてもらえず、リハビリも進まなかつたのですが、「卓球をしましょう」と声かけをすると目を開き、ラケットと球を持ち、サーブを打つ。それがとてもキレイが良いのです。さすが『昔取ったきねづか!』若い頃、卓球やテニスをしてありスポーツマンだったそうです。若い頃にしていた事は、幾つになっても体にしみついており、まだ能力を引き出せると思いました。今後の利用者様の支援に生かして行きたいと思いました。



日々、訪問させていただき、私たちも、利用者様から元気や感動を頂いています。

これからも、よい関係を築き、良いサービスが提供できるよう頑張っていきます。

利用者様から聞いたちょっといい話

ヘルパーステーション

ある利用者様から、「ヘルパーさんはみんな良い人、助かっている。」との声を頂きました。

その利用者様は、色々な病気をかかえており、毎日の生活の中でも、さまざまな不自由があるにも関わらず、前向きな姿勢で人生を謳歌しています。

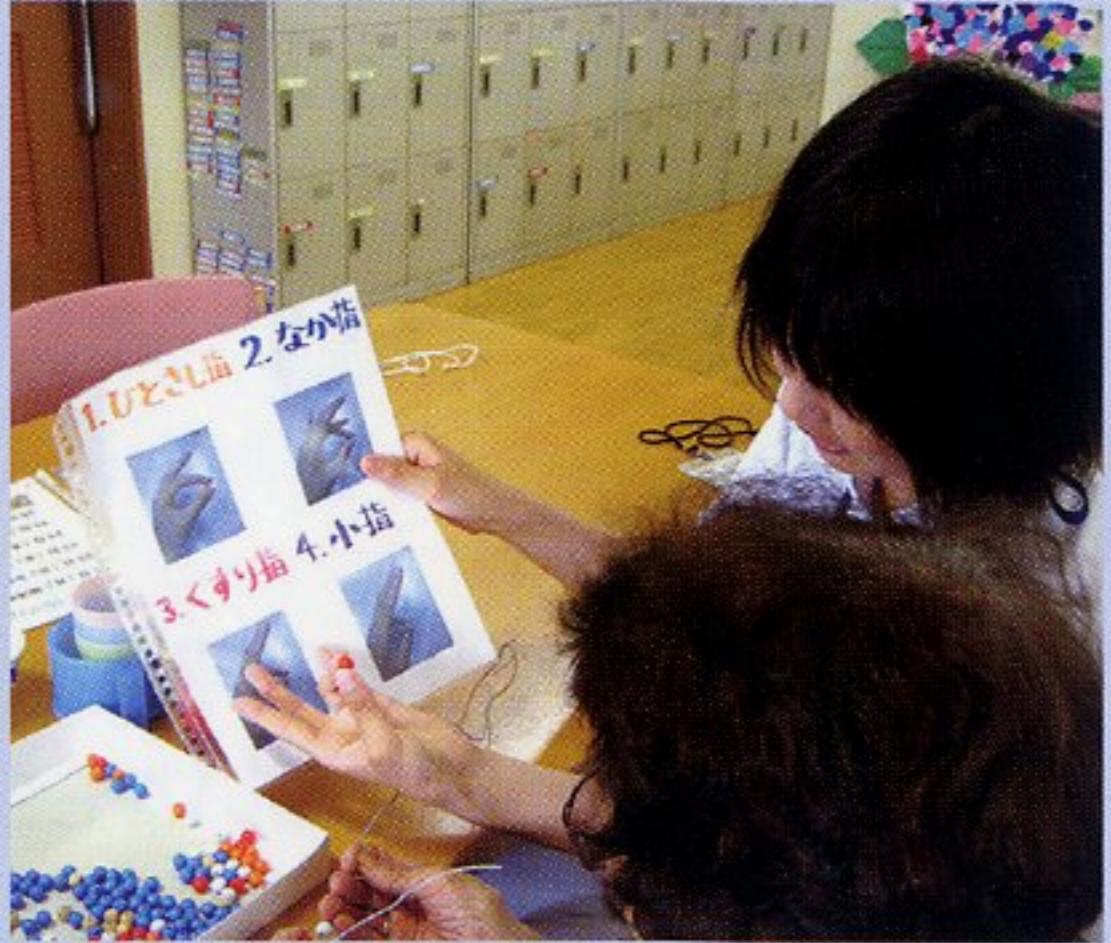
人間は不自由な身になると、自分は、～できない、という事を悲しむのですが、家族や多くの人達から助けられている、生かされているとの考えには共感させられました。



作業療法はじめました

作業療法とは、調理や手芸など、実際の日常生活で必要な動作や作業を行いながら身体の機能回復を目的とするリハビリの一つです。

生活の中で不便な事があれば、それが楽に出来るように、自助具と呼ばれる便利な道具を作ることもあります。



3年間の実務経験を経て

介護福祉士 樋口 恭子



このたび介護福祉士国家試験に合格しました。これからも「親切・ていねい」に利用者様お一人おひとりにあった介護や支援を提供できるよう一生懸命頑張ります。



夏は脱水症にご注意

これから暑い季節になりますが、皆さん水分をしっかり摂っていますか？



夏

汗の量が増えます。そのため体の水分が不足し脱水状態になりやすくなります。

脱水

体の60%は水分です。そのため水分が不足すると体の熱を放出できなくなり体温が上がってしまいます。また脳梗塞の原因となったり、めまいなどの症状が出てきたり、ひどくなると意識を失う事もあります。

あなたは大丈夫？ 脱水症！

チェックリストでチェックしてみましょう

- 尿の量が少ない
- 最近熱が出ることがよくある
- 肌・唇・舌や口の中がかわく
- のどがかわく
- 食欲がなく、立ちくらみやめまいがする
- 体がだるい
- 頭が痛い



※チェックリストにチェックがある方は脱水症の恐れもありますので水分をしっかりとることを心がけましょう。

医療福祉相談室

今回診療報酬の改定により、介護支援連携指導料という加算が新たに算定されました。

これは、入院患者様に対してケアマネジャーと連携し退院に向けての指導等を行うというものです。これからは今まで以上にケアマネジャーと連携を図り、患者様が安心して退院できるように支援させていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

4月から医療ソーシャルワーカーが3名体制となりました

入院患者様の退院調整・退院後の在宅生活においてさまざまな福祉サービスを紹介しながら、その人らしい生活を続けていけるよう一緒に考えていきます。



こんにちは。熊谷 明美です。

4月12日より医療ソーシャルワーカーとケアマネジャーの兼任として、老健のみより異動しました。患者様、利用者様の笑顔の支えになるのが目標です。よろしくお願いします。

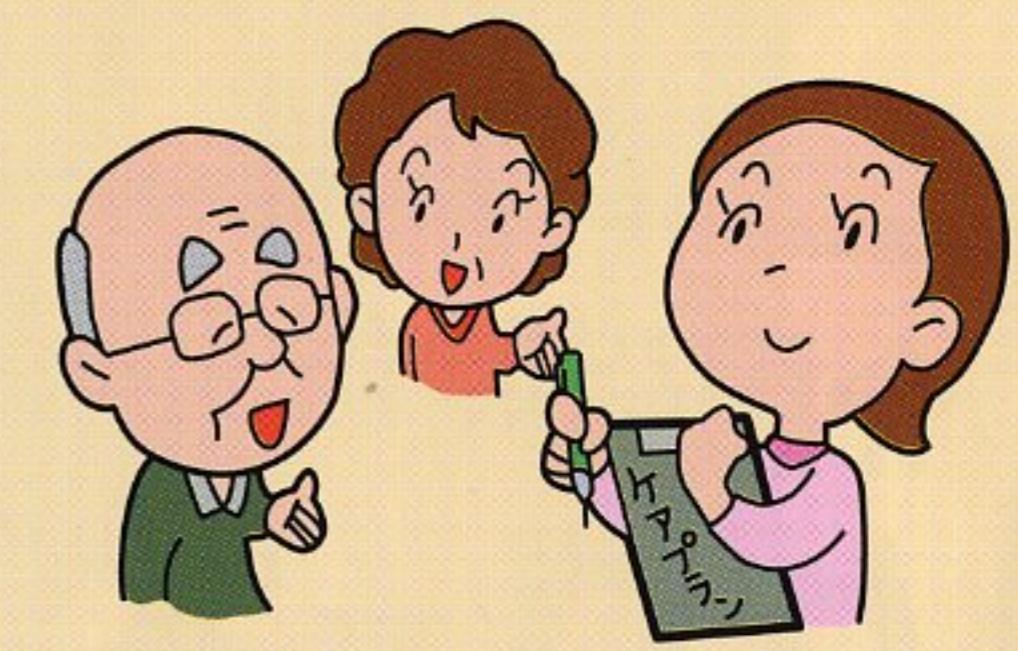


院内発表会

当院では業務改善の為、毎年院内で発表会を開催しています。

昨年度は病院を退院する患者様が安心して自宅に戻り生活ができるようにと介護保険サービスセンターが「在宅サービスの流れを知ってもらい、よりよい連携を図る」をテーマに1年間活動に取り組み、その結果を発表しました。

今回の活動の中で、まず人ととの関係を築くことが大切なのだということを学ぶことが出来ました。今後は増え利用者様のために努力をしていきたいとケアマネジャー一同、決意を強くいたしました。



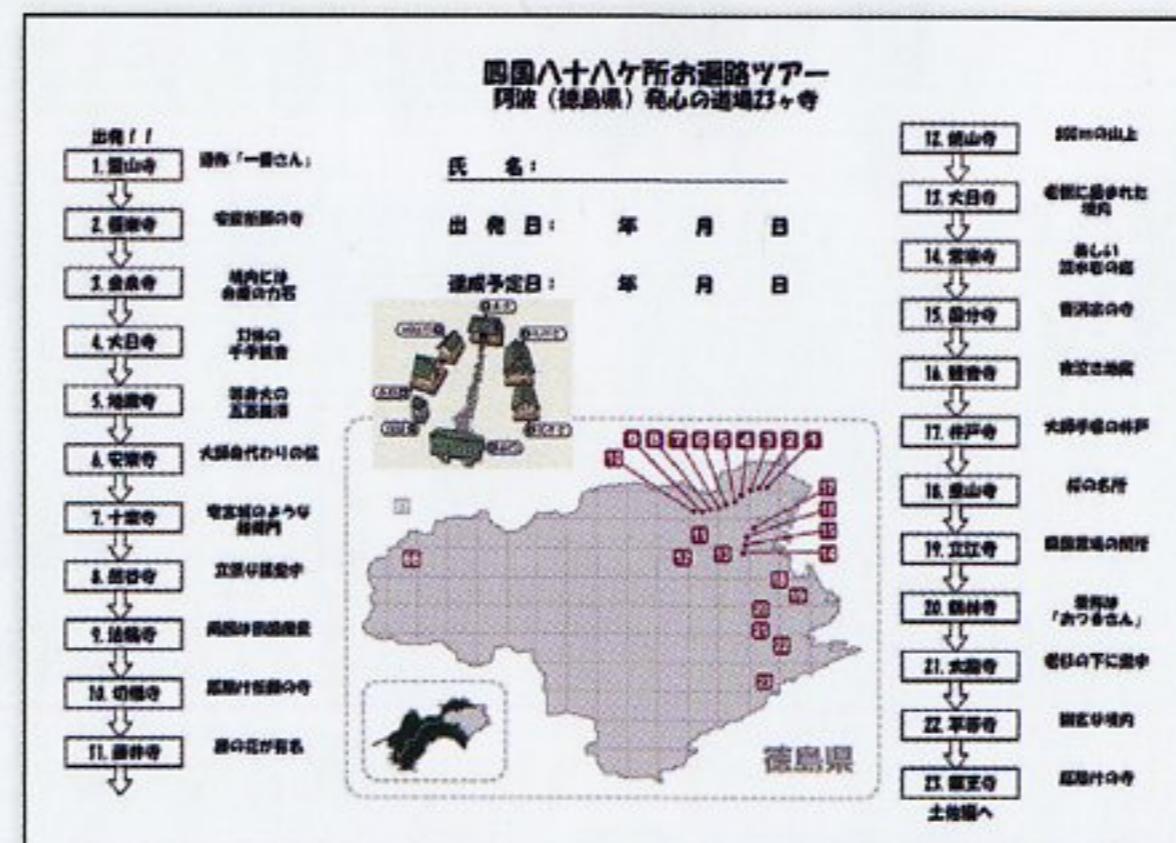
通所リハビリテーション

八十八ヶ所巡り ~歩行訓練~

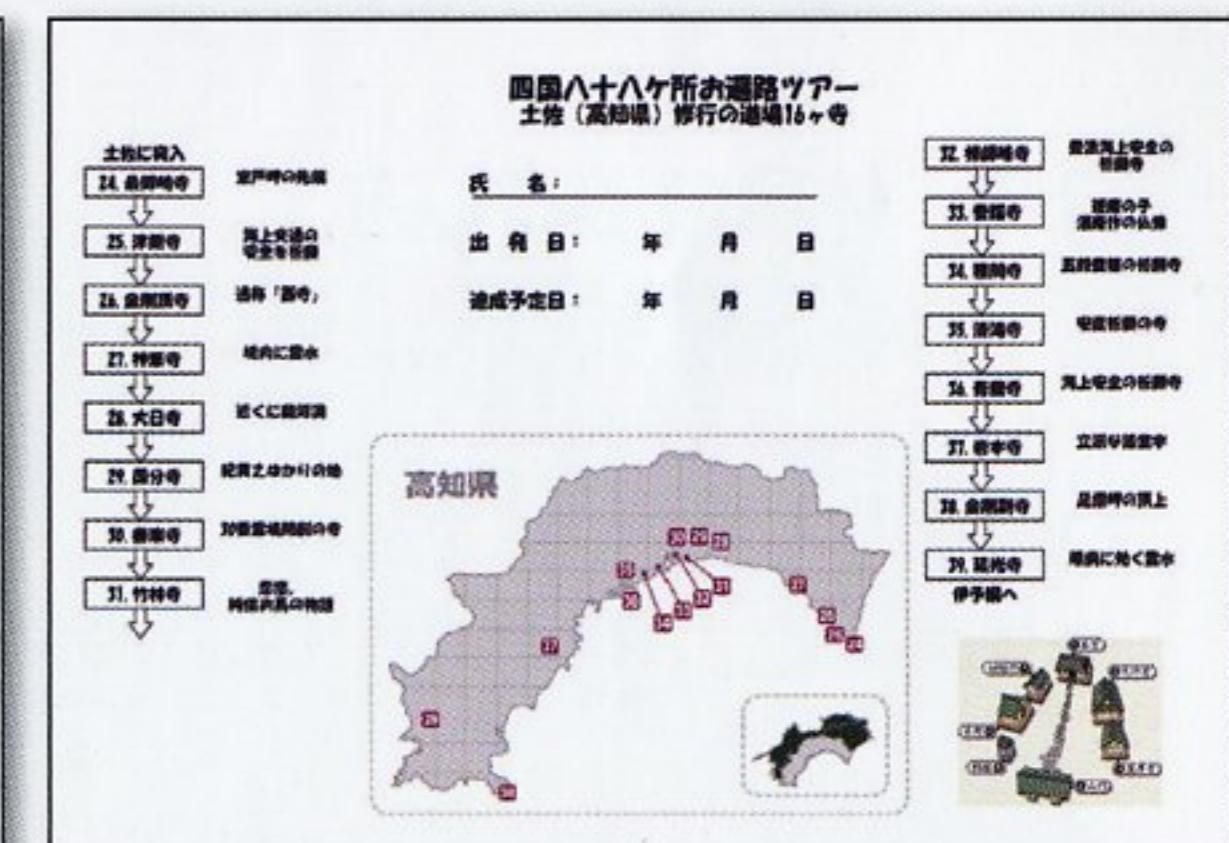
通所リハビリでは、運動機能向上を目指し、リハビリ項目の一つとして歩行訓練を行っています。誰もが楽しみながら歩行訓練を行えるように「四国八十八ヶ所巡り」と題して取り組んでいます。結願すると表彰式を行います。現在、13名結願しました!!



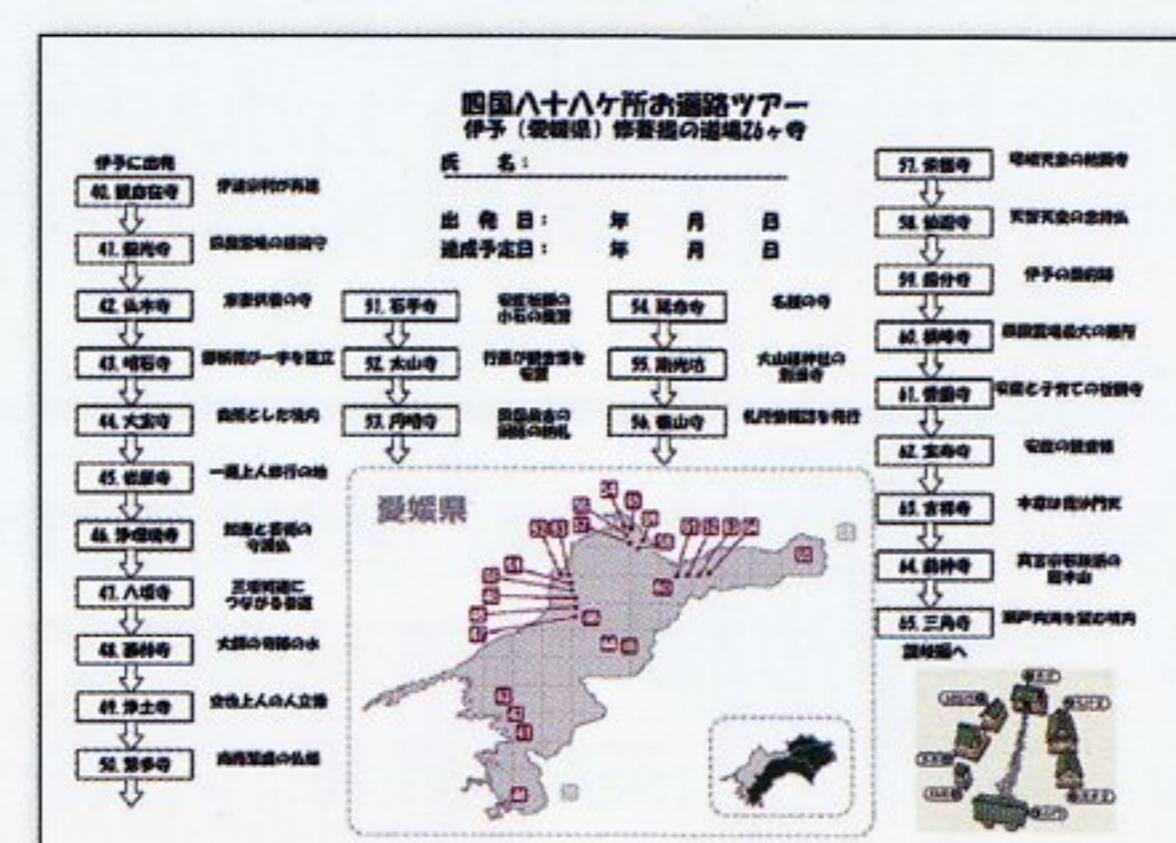
結願された通所リハビリ利用者様



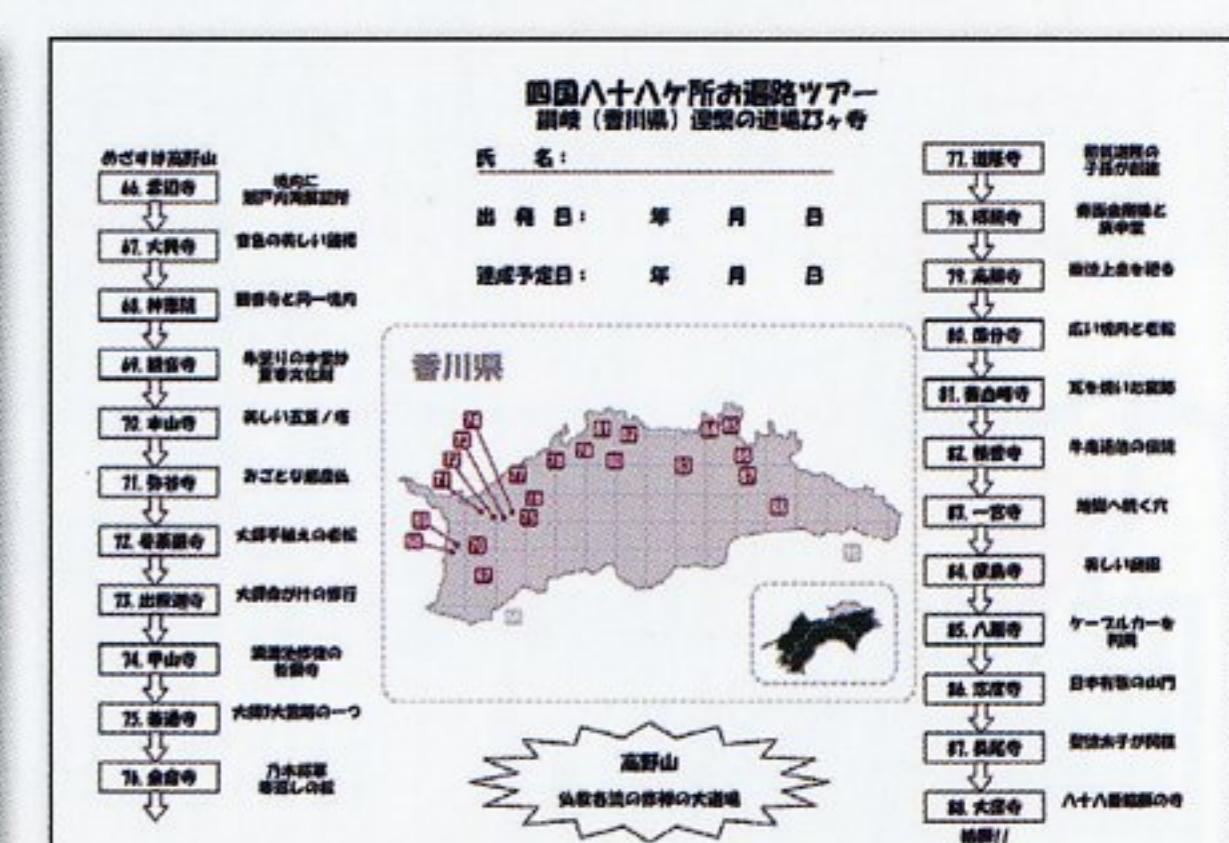
●阿波(徳島県) 発心の道場23ヶ寺 ●



●土佐(高知県) 修行の道場16ヶ寺 ●



●伊予(愛媛県) 修善堤の道場26ヶ寺 ●



●讃岐(香川県) 涅槃の道場23ヶ寺 ●

新人職員の紹介

はじめまして。私は通所リハビリテーション科の事務員として4月から働くようになりました。

事務の仕事は、主に利用者様の利用状況を確認し、請求書を作成したりその後入金の集計を行ったりします。その他には配茶や配膳を通し利用者様と接しています。事務職員の配属は今年度が初めてとの事で、わからない点も多くあります。自ら新たな業務を開拓していきたいと考えています。そして介護士、看護師、理学・作業療法士、全スタッフのサポート役として頑張ります。

常に明るい笑顔と声かけで多くの人と関わり、自分を成長させていきたいです。



事務職員
ふじ ともみ
藤富 彩

みなさん、こんにちは。4月に入職しました。名前の「京都」は福岡県の京都郡が由来になっています。苗字も名前も少し変わっているので、覚えにくいかもしれません。みなさんぜひ覚えてください。また通所リハビリテーション科では最年少の、平成生まれです。

出身は大分市で、今年の3月に大分の専門学校を卒業しました。これからみなさんのリハビリを担当させていただくようになります。まだまだわからないことがたくさんありますが、利用者様と楽しくりハビリをさせていただきたいと思います。

また学生時代にジャズダンススクールに通っていたので、歌ったり踊ったりすることも好きです。イベントがある時など、機会があれば利用者様に披露してみたいと思います。

これからよろしくお願いします。



作業療法士
と くら みやこ
戸倉 京都

介護保険事業部スタッフ クローズアップ!! Vol.1

Q1 : 趣味や特技

旅行・野球・マリンスポーツ



Q2 : 休日の過ごし方

国東の実家でゆっくり過ごす事が多いです。

Q3 : 当院就職年数

今年で14年目になります。

Q4 : この仕事についてよかったです?

たくさんの人(利用者様)と会える事です。そして、リハビリ支援を行う中で、利用者様や、その家族の方に『ありがとうございます』『元気になりました』との言葉

通所リハビリテーション科
副主任 有田 知幸
あり た とも ゆき



を頂いた時、この仕事に就けて本当に良かったと思う瞬間です。

Q5 : 人生のモットー

一期一会

Q6 : 最後に一言

これからも人と人との出会いを大切にし、地域の皆様に信頼され、安心してご利用頂ける施設作りを目指していきたいと思います。苦情、相談、見学希望など、隨時受け付けてありますので、いつでもご連絡下さい。最高の笑顔と最高のスタッフでお待ちしています!

編集後記

今年度より、新しいスタッフを迎えて、(表紙写真)新しいメンバーで、新しい介護トピックスを心新たに発刊致しました。皆様のお役に立てる介護トピックスを目指し、メンバー一同頑張っています。暑い季節を迎えますが、水分補給や睡眠・栄養を十分にとり、元気にこの夏を乗り切りましょう。